

取組と目標に対する自己評価シート（個票）

※このシートは、目標ごとに作成してください。

保険者名：有田町

タイトル 自立支援、介護予防

現状と課題

少子高齢化はすすんでおり、医療費と介護の給付費は増加する。少しでも介護予防になるシステムを作り、地域で支援するシステムを作り上げることが重要だと考える。

第7期における具体的な取組

高齢者が自宅から通える事業を身近な人材で支援するシステムに取り組む。
また、健康ポイントを奨励し、継続することに意欲を持ってもらう。

目標（事業内容、指標等）

- 1、住民主体の通いの場の箇所数を増やす。
- 2、介護予防サポーターの養成数を増やす。

目標の評価方法

サポーター養成は、増えている。
通いの場の数も予想より、増加している。

実績評価（平成30年度）

■実施内容

熊本健康支援研究所に委託し、短期集中支援事業も展開し、卒業後は、大学に行くシステムとなっている。また、同じく、委託して、介護予防サポーター養成も実施している。

住民の間では、通いの場事業が周知されて、徐々に広まってきた。

■自己評価結果

サポーターが全員、従事することはないが、介護予防の意識付けにはなっている。

また、サポーターの生きがいにもなっており、効果は高いと考える。

このまま、続けて生きたい。

■課題と対応策

毎週、施設の確保とサポーターの調整の時間、通いの場事業の費用の増加など課題はたくさんある。
地域支援事業には上限があり、予算の確保が課題。